



カブドットコム証券株式会社
(コード番号：8703 東証1部)
代表執行役社長 齋藤 正勝

2001年1月17日

ウィット・キャピタル証券、イー・ウイング証券及び
日本オンライン証券が戦略的事業提携に合意

ウィット・キャピタル証券（以下 ウィット・キャピタル）、イー・ウイング証券（以下イー・ウイング）及び日本オンライン証券（以下 日本オンライン）は戦略的事業提携に合意致しました。ウィット・キャピタルの個人顧客向けオンラインリテール業務をイー・ウイングと日本オンラインが合併して誕生するオンライン証券（以下 新オンライン証券）へ移管する一方、ウィット・キャピタルはコアビジネスである投資銀行業務に経営資源を集中して参ります。

◇ウィット・キャピタルが引き受ける新規公開株式等を新オンライン証券へ提供

ウィット・キャピタルは、新オンライン証券と販売業務委託契約を結び、自社で引き受ける新規公開株式等を新オンライン証券を通じて提供します。これにより、強力なオンライン投資家への販売網を確保することになります。ウィット・キャピタル証券では2000年7月以来、継続的にインターネットを通じて自社で引き受けた新規公開株式等を投資家向けに提供、2000年12月にはオンライン証券として初の主幹事を務めました。新オンライン証券との提携により、今後はより大型かつ質の高い新規公開株式等の提供が実現可能となります。

◇ウィット・キャピタルのオンラインリテール業務を新オンライン証券へ移管

ウィット・キャピタルの個人投資家向けのオンラインリテール業務は合併後完了後、新オンライン証券へ移管致します。合併によって誕生する新オンライン証券では、伊藤忠商事及び三和銀行をはじめとした多彩な株主の支援により、強固な経営基盤と共に、効率的な経営体制が構築されます。今回の戦略的事業提携により、ウィット・キャピタルが新オンライン証券に対して新規公開株式等、自社が引き受けた商品の提供のみならず、独自のアナリストチームによるリサーチ情報の提供を行うことで新オンライン証券の商品力、サービス力は業界屈指のものとなります。

◇投資銀行業務に注力、日本初のITセクターに特化した専門投資銀行を確立

ウィット・キャピタルは、コアビジネスである投資銀行業務に資源を集約し、インターネット及びテクノロジー（IT）企業の公開市場での資金調達ニーズに応える他、企業のあらゆる成長段階における資金調達、財務戦略、事業戦略に関するM&A等のアドバイザーサービスを追って参ります。また、ITセクターに特化した独自のアナリスト・チームによる質の高いリサーチ情報、更に米国有数のITセクターに特化した投資銀行、米ウィット・サウンドビュー社との連携により、ウィットのグローバルなネットワークや知識、インターネット先進国米国での実績を活用し、より一層の差別化を図っていく所

存です。

ウィット・キャピタル証券とは

全米でも有数のインターネット及びテクノロジー（IT）セクターに特化した投資銀行ー米ウィット・サウンドビュー・グループ・インク（ウィット・キャピタル・グループ・インクより社名変更）が日本市場に進出、1999年8月にウィット・キャピタル証券を設立。2000年2月16日に証券業登録完了。IT企業に特化した未公開・既公開企業のあらゆる成長段階での資金調達その他、財務戦略に関わる投資銀行サービスに強みをもつ。とりわけITに特化した独自のアナリストチームを抱える事で、高い専門性に裏付けられた企業価値のバリュエーション、広範に渡るIT企業のカバレッジ、継続的な投資家に対するリサーチ情報の提供で、既存証券との差別化を図っている。また、オンライントレードサービスを2000年5月29日よりスタート、米国オンラインIPOの先駆者としての実績を活かし、IT企業の新規公開株式等への投資機会を投資家にオンラインで提供。アナリストによるリサーチ情報も無料で投資家に発信し、投資判断を支援する。現状の資本金は50.22億円。

わたしたちはMUFGです。 

カブドットコム証券 <http://kabu.com>

東証1部 [8703]